

オンラインにリアルの要素をいれたワークショップ

このところ、オンラインでのワークショップ話題ばかりでしたが、少しリアルで行っていたときの要素を入れるようにすると、より効果的なのでは？と思い、やってみました。

☆まちづくりびとのステップアップ講座にて

名古屋都市センターさん主催の講座。まちづくりに興味のある方、実際に行っている方が集まって、スキルアップをしようという趣旨の講座です。ここで、トライさせていただきました。

☆今回の試みは…

オンライン (zoom) でのワールドカフェ≡ワークショップでブレイクアウトセッションの体験をしていただきました。その時に、模造紙代わりに **Google** スライドを使いメモを取っていただきました。オンラインでのブレイクアウトが初めての方、**Google** スライドを使うのが初めての方もいらっしゃいましたが、みなさん、すぐに慣れて役割分担して進めてくださいました。ご高齢の方も、さすが！普段 **PC** を使っていられるようで、慣れるのが早いので驚きました。

そんな中で、最後のシメである、ハーベストでの共有をどうするか？でリアル感を出してみたい！そのほうがきっと共有感がでると思い、当初の予定（タブレットで入ってマインドマップを描く）を変更してみました。

手書きでマインドマップを描くのをスマホのカメラを使って映しながら進めるというのをやってみました。



☆ふりかえり

描くほうもサクサクと描いていけました。見ているほうも自分たちの発言が描かれていくという安心感がありました。

Google スライドを使うよりも描くほうも見ているほうもストレス少なく共有できたような気がします。

以前の **HUG**（避難所運営ゲーム）でも、カードを配置していくのに、配置図とカードをスマホのカメラを使って映しながら進めたことがありました。この時はオンラインとリアルで行ったので、時間がかかってしまいましたが、オンライン参加とリアル参加の人たちの気持ちの差が少なかったような気がします。

*リアルで行うこと、オンラインならではの！できること、どちらがその場にふさわしいのかを考えてやってみたらより良いワークショップになる！ということが分かりました。